平成22年度 長沼小学校グランドデザイン　22.11.16現在

《学校長の願い》
H21年度検討委員会諮問を受けて

『三名人をめざしましょう』
○「汗して働こう」より
おそうじ・がんばり名人
(体)
○『いっしょに遊ぼう』より
あいさつ・仲良し名人
(徳)
○『声を出し合おう』より
聞く・見る・話す名人
(智)

《長野市教育大綱》
敬愛の心を培う

《学校教育目標》
感動豊かによく学びよく遊ぶ長沼の子
かしこい子(智)　あたたかい子(徳)　たくましい子(体)

《本年度の重点目標》
『汗して働こう』**おそうじ・がんばり名人**(体)
『いっしょに遊ぼう』**あいさつ・なかよし名人**(徳)
『声を出し合おう』**聞く・見る・話す名人**(智)

《実態》
○自然豊かな農村地域で顔見知り、江戸時代以来世帯数は変わらないが、児童数は減少傾向
○専業農家が1割、三世代同居も多い。
○国道で分断されているが、地域の学校へ寄せる思いは強く協力的。
○家庭が安定しているため、児童は素直で明るく真面目だが、人任せでやや消極的
○発表力を高め、自発的な姿を出したい。
○少人数のため人間関係が固定されがちである。

《目標達成のための重点活動》

おそうじ・がんばり名人
『汗して働こう』　(体)
(勤労奉仕活動)

・清掃活動の充実(人のためにしっかり働く意識の育成)

・マラソン記録会
(自分への挑戦)

・最後までやり抜く当番活動係活動

あいさつ・なかよし名人
『いっしょに遊ぼう』　(徳)
＊学年の枠を越えた人間関係作り　(縦割り活動)
・縦割り活動のさらなる充実。固定化している人間関係の打破。新たな人間関係作り。
・各行事の内容や取り組み方を見直し。縦割り活動も効果的に取り入れた児童の主体的の育成。
・「相談の時間」を活用。
(学級の児童の思いをくみ取ったり、Q－Uアンケート等の客観的資料を生かしたりして、安心して過ごせる温かい学級作り)

聞く・見る・話す名人
『声を出し合おう』　(智)
＊「わかった」「できた」、「やれた」という充実感がもてる授業　(授業改善)
・学級の課題と教師の課題を明らかにしながら取り組む公開授業
・児童一人ひとりの実態を捉え、個々の特性に配慮し、皆が「わかった」と実感のもてる工夫された授業
・児童が、自らが授業を振り返る場(自己評価)、教師の評価を取り入れて、達成感や学習意欲を育てる授業
・伝え合い、聞き合うことができる温かい学級を土台にして、自己表現力のさらなる向上

【研究】
全校テーマ
『温かな人間関係を基盤とする自己表現力の向上のための支援のあり方』
○重点研究
・理科
「友と関わり合い、主体的に問題解決する児童の育成」

【教育課程】:子どもが持ち込む課題　⇒教材と出会い
友のよさを持ち込む追究 ⇒教師・友と出会い
自分よさを感じる振り返り⇒ 自分と出会う

学級の中核活動・栽培活動

1年	:	アサガオ栽培	カブトムシ飼育
2年	:	うさぎさんとなかよし	サツマイモ,大豆栽培
3年	:	りんご学習　百人一首	花作り
4年	:	福祉交流活動	和太鼓活動
5年	:	バケツ稲作り　菊づくり	長沼の自慢みつけ
6年	:	全校みんなが楽しめる児童会活動	

【研修】
○授業改善
自己課題に向けた
一人1公開授業
○授業交換・合同授業
○一人1講話
(水曜朝りんごっこ)
○児童理解
(職員会で毎回時間を設定)

《地域・保護者との連携》
・家庭学習の協力
・卒業生、地域との合同運動会
・音楽会(太鼓クラブ、童謡唱歌の会参加)
・マラソン大会
・読書・スキーボランテイア
・ふるさと学習講師
・地域学習への参加(公民館・育成会)
・生活リズムの点検　(学校保健委員会)
・昔の遊びクラブ、ゲートボールクラブへの地域講師による指導

《学校評価システム》　※市全体の新評価システムに沿う形で工夫して実施
◎ QU検査を学級経営に活かす
4月…重点目標や運営の重点の周知と実践
家庭状況,願い把握
5～7月…NRT検査、QUアンケート実施、分析、考察
8月…二学期重点決め出し～実践
9～10月…学級経営見返し、後期経営案作成
11月…保護者評価、児童による評価(アンケート)実施
集計、分析、考察、後期重点決めだし
12月…QU2回目実施
1～3月…次年度の方向策定

《日課表の工夫》
・ステップタイム　(毎日 昼)
・朝読書　(月・火・木・金)
・りんごっこ (水曜朝)
講話・音楽・体育等
・公開授業研究会
(水曜放課後)
・なかよしタイム
(金曜3校時)
縦割り活動・学年発表
・相談の時間(月・火・木・金)
3:40～3:50

《教育活動の説明責任の工夫》
・PTA総会での運営の重点説明
・各学年だより週1　・専科だより月1
・保健室だより月1
・学校だより20号(保護者・評議員・民生児童委員へ配布)

《生徒指導の充実》
・生徒指導職員会(毎回職員会に位置づける)・不登校0への取り組み
・児童理解の充実(QUアンケート・エンカウンター)
・特別な支援を要する児童への全校支援体制づくりと、保護者との定期的懇談実施